

平成27年度 事務事業外部評価結果 集計表

A：事業をさらに推進することが妥当（評価点 4.0以上）

B：事業を現状のまま継続することが妥当（評価点 3.0～3.9）

C：事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要（評価点 2.0～2.9）

D：事業の見直し・休止・廃止について検討が必要（評価点 1.9以下）

※評価点は、7名の委員がそれぞれ妥当性、効率性などについて各事務事業ごとに5点満点で評価したものの平均です。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
1	常磐自動車道の4車線化、相馬福島道路の早期完成	4.4	A	計画・工事の状況を積極的にPRし、理解を深めるとともにその必要性を説き、常磐道の早期の4車線化を望みます。
2	高速バスの運行	4.6	A	JR常磐線開通までの維持・継続と利用を促進するため市民へのPRを望みます。
3	雨水の排水対策	4.6	A	他地域での排水対策についても体制を整えて下さい。
4	災害危険区域の土地利用	4.1	A	市民に検討内容をできる限り公開し、若い世代の意見も取り入れた検討を進め、着実に事業を進めて下さい。
5	住居環境整備の促進	4.6	A	一日も早く全ての方が移転できるよう事業を進めるとともに、移転住民のコミュニティ形成等へのサポートも進めて下さい。
6	応急仮設住宅から恒久住宅等への移行促進	4.4	A	仮設住宅から恒久住宅に移転できない被災者にも丁寧な対応を望みます。
7	避難道路の整備	4.4	A	分かり易い避難誘導標識の早期整備を進めるとともに、整備進捗についても適宜情報公開をお願いします。
8	公園の整備	4.2	A	遊具の数や種類など、若い世代の意見も取り入れた、子どもが本当に楽しめる遊具整備を強く希望します。
9	組長戸長制度による仮設住宅のマネジメント	4.5	A	孤独死を出さないよう、これまで以上に相互連携を強化し、より一層丁寧な見守り体制が必要と思われます。
10	被災した障がい者の健康訪問チェック	4.5	A	各種団体との連携や既存ネットワークの協力を得ながら、障がい者が安心して暮らせるよう支援をお願いします。
11	被災者の継続的な健康診断と健康相談会	4.0	A	健康寿命を延ばすためにも、検診内容や場所・時期の検討を行い、受診率を上げるため事業内容の再検討をお願いします。
12	玉野地区住民の継続的な健康診断	4.2	A	受診者数に関係なく事業を継続するとともに、受診率向上のための対策を実施して下さい。
13	ワンストップサービスでの無料困りごと相談・法律相談	4.2	A	問題は単純ではなく複雑に絡み合っているもの多いと思われますが、気軽に相談できるということをもっと市民にPRしながら事業の継続をお願いします。
14	被災児童等のための放課後児童クラブの運営	4.4	A	被災児童に限らず、ひとり親家庭への支援も行えるよう検討するとともに、放課後児童クラブの充実や運用の見直しを推進してください。
15	応急仮設住宅等の災害弱者支援及びPTSD対策のための情報交換	4.1	A	関係者との情報交換を密にしてより親身に対応を行い、支援活動のPRや活性化を図って下さい。
16	おでかけバスの運行	4.3	A	利用者の減少なども踏まえた上で運行内容の検討が必要であろうと思いますが交通弱者、買い物弱者への買い物支援事業と連携した事業の継続を行って下さい。
17	新たな住宅地でのコミュニティの確立	4.3	A	従来の行政区との連携、協働と協調が進むよう、市が積極的に関わりながら新たなコミュニティづくりを進めて下さい。
18	交通弱者、買い物弱者への買い物支援	4.3	A	交通弱者は今後も増加すると思われるので、利用者の立場に立った、利用しやすい運行を望みます。
19	相馬井戸端長屋での生活支援	4.5	A	長屋住民が孤立しないよう、管理人の体制整備やイベント開催など、入居者への支援が途切れないようにして下さい。
20	応急仮設住宅での買い物支援と災害弱者生活支援	4.1	A	恒久住宅への移行状況を踏まえ、他の事業と関連付けながら事業の見直し、継続を望みます。
21	一人暮らし高齢者宅への声かけ訪問と昼食宅配	4.1	A	各団体で行っている活動に市がより積極的に関与し高齢者の孤独死などが発生しないよう、地域を挙げての体制整備をお願いします。
22	放射線教育	4.4	A	市民の意識が低下しないよう、根気強く継続するとともに、内容の充実、教育機会の適切な設定などを見直しを希望します。
23	除染の計画と実施	4.7	A	除染残土の処理、管理を徹底するとともに、除染後の効果確認の継続実施と、必要時の再除染の確実な実施体制を保ってください。
24	妊婦、中学生以下の外部被ばく線量測定	4.5	A	市民の安心安全のためにも継続するとともに、ガラスバッジの取り扱いについては他の方法がないか検討が必要と思います。

平成27年度 事務事業外部評価結果 集計表

A：事業をさらに推進することが妥当（評価点 4.0以上）

B：事業を現状のまま継続することが妥当（評価点 3.0～3.9）

C：事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要（評価点 2.0～2.9）

D：事業の見直し・休止・廃止について検討が必要（評価点 1.9以下）

※評価点は、7名の委員がそれぞれ妥当性、効率性などについて各事務事業ごとに5点満点で評価したものの平均です。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
25	学校給食での放射性物質測定	4.7	A	食の安全確保のために正確な測定の継続に加え、機器の管理状況や検査結果の公開も含めて正しい情報を提供してください。
26	ホールボディカウンターによる市民の内部被ばく検診	4.4	A	市民の安全管理、不安解消の為に、受診率を上げる活動と希望者の検診を継続して下さい。
27	甲状腺対策	4.5	A	長期的に続けることが安心にもつながると思うので、検査を継続するとともに、受診率を維持するための市民への啓蒙をお願いします。
28	学校施設での放射性物質の除染	4.4	A	なるべく早く除染土砂を仮置場もしくは中間貯蔵施設へ搬出し、除染後も環境保全を維持し、子供達の安心安全の確保をお願いします。
29	玉野地区の農地除染	4.4	A	除染効果の定期的な確認、除染物の流出防止を徹底し、農地の適正な管理を望みます。
30	放射性物質汚染土砂等の仮置と中間貯蔵施設への搬出	4.4	A	汚染土砂等中間貯蔵施設ができるまで除染物の管理を徹底するとともに、搬出ルート of 安全確保策の確立をお願いします。
31	NPOと連携した心のケア	4.4	A	相馬フォロアチームを中心とした心のケアネットワークが広がることを期待し、長期にわたる事業を望みます。
32	中学校ICT機器の導入	3.9	B	ICT機器はあくまで道具であり、指導者の育成、指導方法やソフトの選定によって効果も変わってくるので、更なる研究、長期にわたる検証が必要と思われる。
33	学力向上を目的とした学校提案型授業等への支援	4.2	A	教育内容のレベル向上についてモニタリングや成果の公表を行い、市民が教育に関心を持つように長期計画のもと継続して下さい。
34	学力向上のための市独自の講師雇用	4.2	A	財源確保の問題はあっても、最優先すべき事業であり、相馬市が教育都市を目指し市全体の教育レベル向上に至るよう、積極的に進めて下さい。
35	中学生の学力向上・学習を支援する「相馬寺子屋」の開催	4.1	A	高校生のボランティアを含めた講師を考えながら学習支援活動としてさらに発展させることを望みます。
36	エルシステムとの連携による小中	4.3	A	本物・生の演奏に触れることは感受性の強い子どもにとって大切であり、今後も継続できるよう体制の整備を図って下さい。
37	中村第一中学校屋内運動場の改築	4.7	A	教育施設の早急な安全確保に努め、早期の完成を望みます。
38	中村第二中学校校舎の改築	4.7	A	子どもたちが快適な環境設備（冷暖房）で過ごせる校舎を早期に完成させ、教育施設の安全確保に努めて下さい。
39	子育て支援施設の整備と活用	4.3	A	市民に根付いた事業となるよう施設の整備とその運営方法及び子育て支援のあり方を考え、子育てがしやすい環境をつくることを望みます。
40	子ども子育て支援センター相馬愛育園の活用	4.3	A	転入者にも分かりやすいよう情報提供の方法を工夫するとともに、関係機関との連携を密にしながら、より効果が上がるよう取り組んで下さい。
41	ほ場整備を含む農地の災害復旧	4.2	A	競争力拡大に向け農地の集約化、大規模化、農業法人の設立支援を進めるとともに、後継者の育成や市民への農地賃貸等も考えながら、若者にとっても魅力ある農業となるよう、関係機関と協力して事業を進めてください。
42	松川浦漁港共同利用施設の復興整備	4.3	A	本格操業へ向け施設の様々な活用方法を検討するとともに、放射能検査はよりオープンなものにすべきと考えます。
43	水産加工流通施設の整備	4.4	A	漁業に携わる方々の希望となるよう、関係団体との意見交換を行いながら地域振興の拠点となるよう整備を進めて下さい。
44	中小企業等への支援	3.6	B	情報の収集、周知を図りながら、支援策の活用スキームを提案するなど、より積極的な取り組みを望みます。
45	相馬港の利活用促進	4.1	A	高速交通網の整備により利便性は向上してきたので、港を使用するニーズに合った企業を選んだアプローチ活動などの事業拡大を望みます。
46	中核工業団地への企業誘致	3.8	B	高速交通網や港の利活用など総合的にPR活動を推進するとともに、外部からの住民受け入れの為、住居整備等の課題解決に向けた事業計画の見直しをすべきと思います。
47	ハザードマップの作成	4.4	A	情報を常に更新して、防災、減災意識を市民全員が持つようにし、小さい子供や高齢者、市外からの来訪者にもわかりやすいマップを作成することを望みます。
48	市庁舎の建設	4.7	A	工事の完了を急ぐとともに、市民の市役所としての利用方法にも意を注いでください。

平成27年度 事務事業外部評価結果 集計表

A：事業をさらに推進することが妥当（評価点 4.0以上）

B：事業を現状のまま継続することが妥当（評価点 3.0～3.9）

C：事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要（評価点 2.0～2.9）

D：事業の見直し・休止・廃止について検討が必要（評価点 1.9以下）

※評価点は、7名の委員がそれぞれ妥当性、効率性などについて各事務事業ごとに5点満点で評価したものの平均です。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
49	歴史資料収蔵館・郷土蔵の利活用	4.1	A	郷土に誇りを持てるような拠点とするため、更なる充実と収蔵物の補修・保全を行い、多くの来館者が楽しめるよう努力してください。
50	交流人口拡大に向けたスポーツ施設の利活用	4.2	A	事業のメリットを生かすため来訪者の宿泊に対する対策を確実に実施するとともに、季節に応じた行事の開催や施設のPRなどを積極的に行ってください。
51	後世の伝達のための資料収集と中間報告の発行	4.4	A	記憶が薄れないうちに関係資料の収集を十分行い、後世に伝える報告書の作成をお願いします。
52	伝承鎮魂祈念館の利活用	4.0	A	展示の内容に変化を見せて、再度来場してもらえる施設にするとともに、担当者の説明等の運営方法も考えて下さい。
53	再生可能エネルギーの活用策の検討とモデル事業の実施	3.8	B	再生エネルギーの重要性を市民全体で共有し、市施設へ積極的に導入を進め、再生可能エネルギーの普及に取り組んでいただきたい。
54	住宅用太陽光発電システム設置への補助	4.1	A	市民への情報提供を積極的に行い、今後もこの事業を続けるよう支援をお願いします。
55	防犯灯、外灯のLED化	4.3	A	防犯という点からも地域の合意のもと、行政が積極的に推進してほしいと思います。
56	防災協定締結都市との交流連携	4.6	A	防災・減災意識を保つために、市民に対して情報を提供し、市民レベルでの交流が可能となるように継続的に取り組んでほしい。
57	観光交流の推進	4.0	A	既存の施設、観光資源を活用し、宿泊に関するおもてなし等のソフト面の整備と観光客を呼べるような企画を考えながら事業を推進すべきであると考えます。
58	地域間交流による風評被害払拭・相馬復興のための活動への支援	4.2	A	「相馬ブランド」の育成と地産地消により安心安全のアピールをもっと積極的に進められるよう継続的に支援を行ってください。